

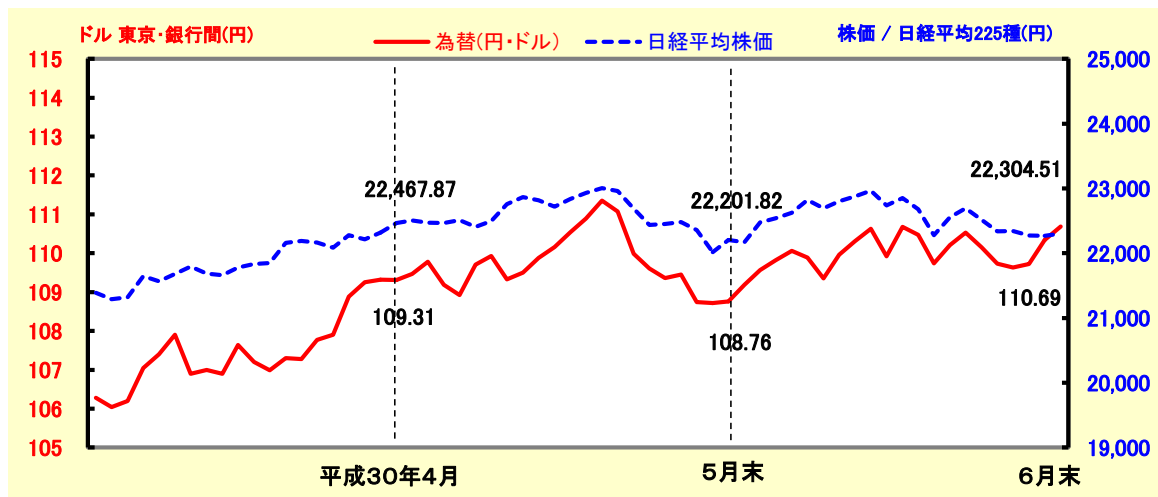
みらいしんきん Report

景気動向調査のまとめ

調査期間 平成30年4月～6月

大分みらい信用金庫では、3ヶ月毎に「中小企業景気動向調査」を実施しています。

株価と為替の動き



調査内容

平成30年4～6月期の業況/平成30年7～9月期の業況予想

今回の調査実施時期

平成30年6月上旬

調査先数

大分市・別府市・中津市・宇佐市・豊後高田市・由布市・日出町・福岡県築上郡(事業所215先)

調査先業種内訳

製造業	31先	小売業	61先
卸売業	25先	サービス業	60先
建設業	22先	不動産業	16先

調査方法

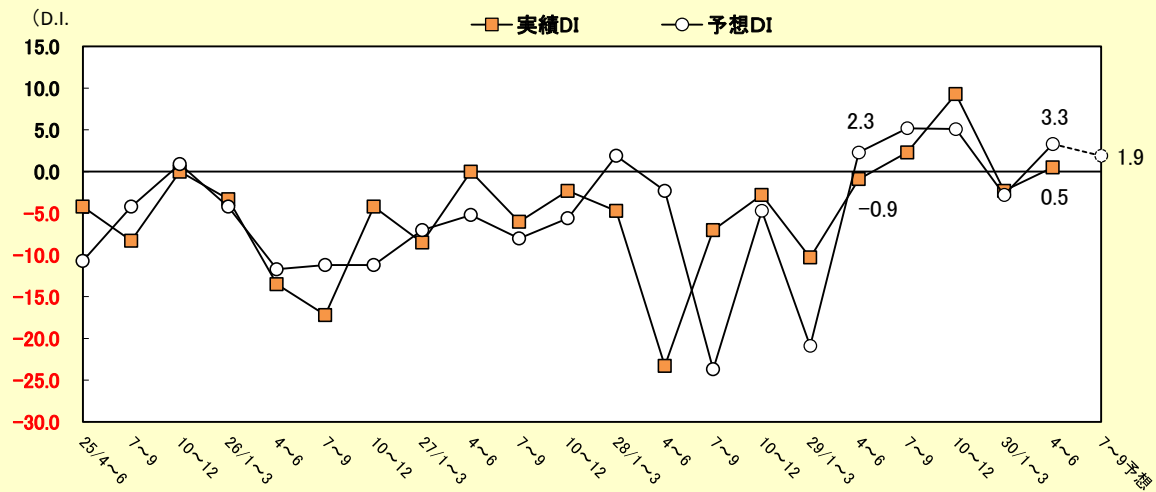
面接・聞き取りによる感触調査

分析方法

各質問項目で、「増加」(上昇)したとする事業所の全体に占める割合と、「減少」(下降)したとする事業所の割合との差(判断DI)で分析しています。

県内経済概況

業況判断・実績DI/予想DI値推移



業種別天気図

表の見方



		4~6月期実績				7~9月期予想			
		総合	別府	大分	県北	総合	別府	大分	県北
総 合	合								
		0.5	4.4	▲3.6	0.0	1.9	3.3	0.0	2.5
製 造 業									
		▲6.4	0.0	▲40.0	0.0	3.2	6.2	▲20.0	10.0
小 売 業									
		▲6.6	0.0	▲11.5	▲12.5	▲8.3	▲3.8	▲15.3	0.0
卸 売 業									
		0.0	0.0	▲10.0	16.6	0.0	0.0	▲10.0	16.6
サ ー ビ ス 業									
		5.0	3.5	10.7	▲25.0	1.6	▲3.5	10.7	▲25.0
建 設 業									
		4.5	20.0	0.0	0.0	22.7	40.0	33.3	0.0
不 動 産 業									
		17.6	28.5	0.0	25.0	11.7	28.5	0.0	0.0

4月～6月の県内経済概況

(当金庫景気動向調査まとめ)

4月～6月の調査地域全域における企業の景況感を示す総合業況DIは0.5となり、前期比2.8ポイント上昇となっています。業種別の状況を見ると、製造業は▲6.4となり、前期比0.0ポイントと同水準、小売業は▲6.6となり、前期比3.5ポイント上昇、卸売業は0.0となり、前期比48.0ポイント上昇、サービス業は5.0となり、前期比5.0ポイント下降、建設業は4.5ポイントとなり、前期比22.7ポイント下降、不動産業は17.6となり、前期比0.0ポイントと同水準となっています。

地域別では、別府地区が4.4となり、前期比3.4ポイント上昇、大分地区が▲3.6となり、前期比9.7ポイント上昇、県北地区が0.0となり、前期比12.5ポイント下降となっています。

業 種 別 景 況

製 造 業

● 当期(4月～6月)の景況

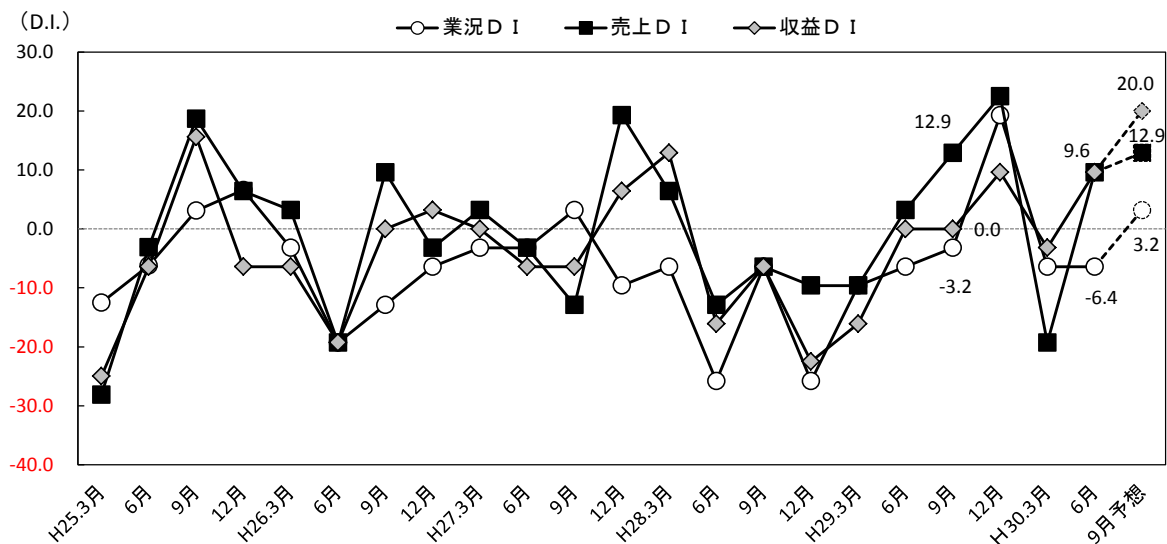
全域における業況DIは▲6.4となり、前期比0.0ポイントと同水準、前年同期比0.0ポイントと同水準となっています。売上DIは9.6となり、前期比28.9ポイント上昇、前年同期比6.4ポイント上昇となっています。収益DIは9.6となり、前期比12.8ポイント上昇、前年同期比9.6ポイント上昇となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が0.0となり、前期比0.0ポイントと同水準、前年同期比12.5ポイント上昇、大分地区が▲40.0ポイントとなり、前期比0.0ポイントと同水準、前年同期比20.0ポイント下降、県北地区が0.0となり、前期比0.0ポイントと同水準、前年同期比10.0ポイント下降となっています。

● 来期(7月～9月)の見通し

全域における業況予想DIは3.2となり、今期比9.6ポイント上昇となっています。売上予想DIは12.9となり、今期比3.3ポイント上昇となっています。収益予想DIは20.0となり、今期比10.4ポイント上昇となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が6.2、大分地区が▲20.0、県北地区が10.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

人手不足	18.5%
同業者間の競争激化	14.2%
売上停滞・減少	12.8%
原材料高	12.8%
工場・機械の狭小・老朽化	8.5%

最重要経営施策

販路拡大	24.2%
経費節減	17.1%
人材確保	12.8%
新製品・技術開発	8.5%
特になし	8.5%

経営者のみなさまの主なコメント

- 補助金、専門家派遣等を積極的に取り入れたい。(製菓製造業)
- 原材料の価格は、相変わらず高い水準にある。(木工業)
- 学校等に弁当を配達しているが、今の高校生はパンなどを購入する傾向にあり、弁当はあまり人気がない。(食製品製造販売)
- 売上、収益に関して現状維持で推移している。設備は豆腐のプレス機を購入したため、当分は設備導入の予定はない。今後は経費削減を行い、収益を増加させていきたい。(豆腐製造)
- 竹製品を卸売業者、神社に納入しているが、安価な海外製にシェアを侵食されている。(竹製品製造販売)
- 学校の売店業務を行っているが、売上は安定推移している。8～9月は夏休みであるため、例年他の月と比較して売り上げ減少する傾向にある。(パン・製菓製造販売)
- 業況は安定推移している。先月、工場をリニューアルしメディアにも注目された。(食料品製造)

小 売 業

● 当期(4月～6月)の景況

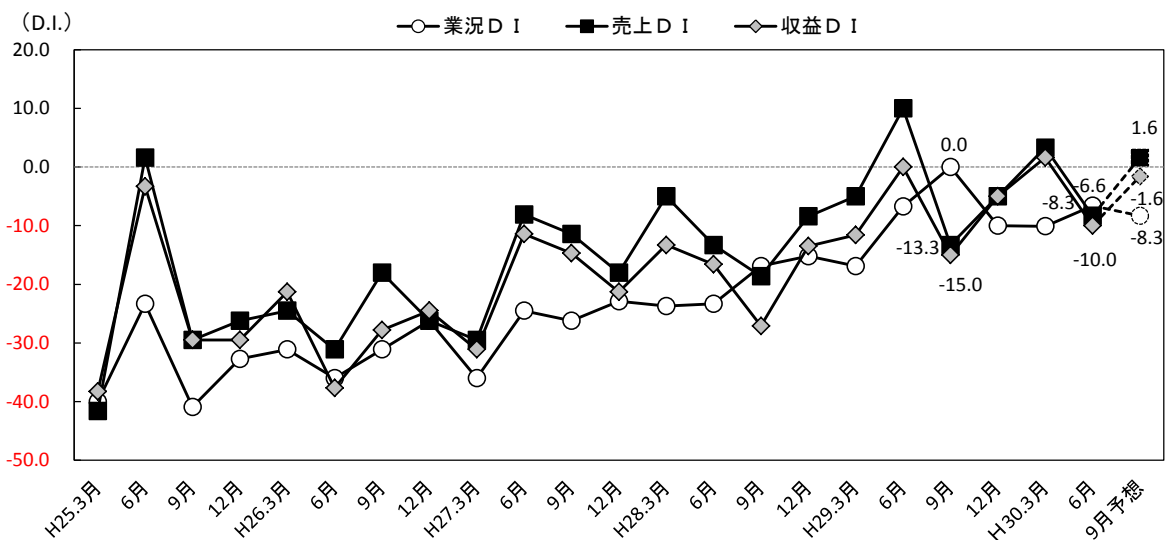
全域における業況DIは▲6.6となり、前期比3.5ポイント上昇、前年同期比0.1ポイント上昇となっています。売上DIは▲8.3となり、前期比11.6ポイント下降、前年同期比18.3ポイント下降となっています。収益DIは▲10.0となり、前期比11.6ポイント下降、前年同期比10.0ポイント下降となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が0.0となり、前期比3.8ポイント下降、前年同期比16.0ポイント上昇、大分地区が▲11.5となり、前期比16.5ポイント上昇、前年同期比11.5ポイント下降、県北地区が▲12.5となり、前期比12.5ポイント下降、前年同期比12.5ポイント下降となっています。

● 来期(7月～9月)の見通し

全域における業況予想DIは▲8.3となり、今期比1.7ポイント下降となっています。売上予想DIは1.6となり、今期比9.9ポイント上昇となっています。収益予想DIは▲1.6となり、今期比8.4ポイント上昇となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲3.8、大分地区が▲15.3、県北地区が0.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

売上停滞・減少	17.6%
同業者間の競争激化	16.0%
大型店競争激化	12.8%
人手不足	8.8%
取引先減少	8.0%

最重要経営施策

経費節減	65.9%
品揃え改善	36.3%
宣伝・広告強化	36.3%
売筋商品取扱	20.4%
特になし	15.9%

経営者のみなさまの主なコメント

- 個人経営であり、商談会に参加してもバイヤーから求められるロットが多すぎて対応できない。しかし、新しい商品、新技術、マツチングには目を向けておく必要があると強く感じている。(雑貨・カフェ)
- 別府の飲料店に氷を販売しているため、売り上げは夏に集中する。業種的に事業拡大は難しいため、数年前から不動産賃貸業にも参入している。(氷販売)
- 地場のホテル等を中心に米を販売している。地場ホテルの減少および外資系大手資本ホテルの進出に影響を受けている。(米販売)
- 同業他社との価格競争により利幅は縮小している。専門家派遣等を積極的に活用し経営改善に努めている。(精肉卸売)
- 百貨店、大手スーパーとの競合、地域の少子高齢化等により売上が減少している。(衣料品販売)
- 税理士からの案内で税務相談等のセミナー参加しているが、補助金や助成金は手続きにき時間もかかり、難しい印象があることから、手が出せていない。(化粧品販売)

卸 売 業

● 当期(4月～6月)の景況

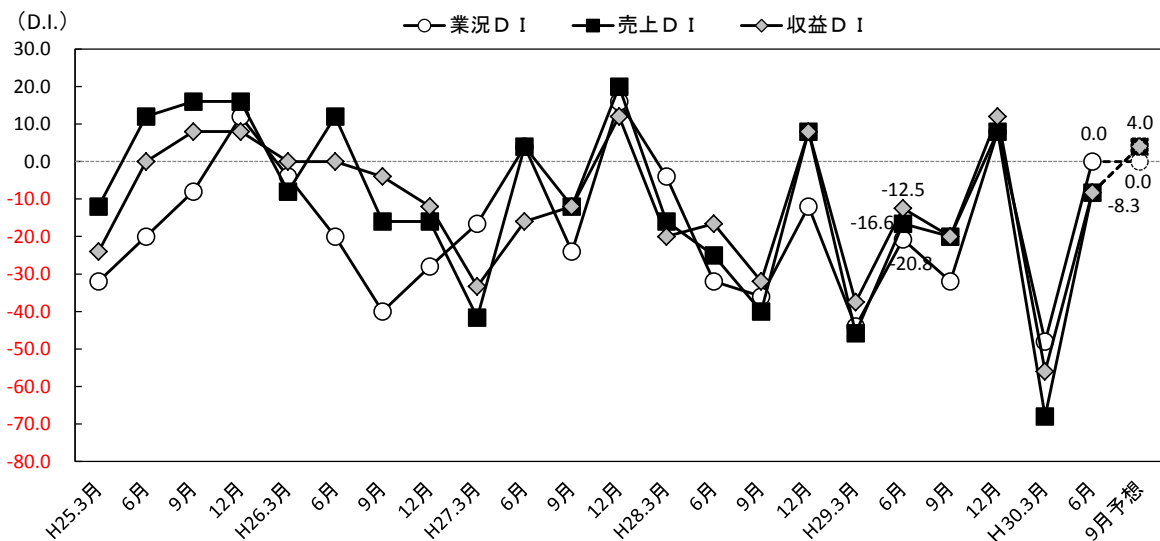
全域における業況DIは0.0となり、前期比48.0ポイント上昇、前年同期比20.8ポイント上昇となっています。売上DIは▲8.3となり、前期比59.7ポイント上昇、前年同期比8.3ポイント上昇となっています。収益DIは▲8.3となり、前期比47.7ポイント上昇、前年同期比4.2ポイント上昇となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が0.0となり、前期比66.6ポイント上昇、前年同期比33.3ポイント上昇、大分地区が▲10.0となり、前期比60.0ポイント上昇、前年同期比12.2ポイント上昇、県北地区が16.6となり、前期比0.0ポイントと同水準、前年同期比16.6ポイント上昇となっています。

● 来期(7月～9月)の見通し

全域における業況予想DIは0.0となり、今期比0.0ポイントと同水準となっています。売上予想DIは4.0となり、今期比12.3ポイント上昇となっています。収益予想DIは4.0となり、今期比12.3ポイント上昇となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が0.0、大分地区が▲10.0、県北地区が16.6となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

売上停滞・減少	15.9%
同業者間の競争激化	13.6%
人手不足	13.6%
天候不順	11.3%
利幅縮小	9.0%

最重要経営施策

販路拡大	29.5%
経費節減	18.1%
情報力強化	11.3%
品揃えの充実化	9.0%
人材確保	9.0%

経営者のみなさまの主なコメント

- 竹製品の需要低迷を最も懸念している。また、梅雨に入ると竹製品は湿気するため管理が大変である。(竹製品製造卸)
- 竹製品の需要が下がってきていることが現在の一番の心配事(竹製品製造卸)
- 大分県、宮崎県の土産品販売店等に商品を卸しており、堅実な営業を続けている。(土産品卸)
- 売上減少および仕入先からの値上げ要請により、利幅が減少している。(建築材卸)
- 売上については平年並みであり、商品の値上げを検討しているが、顧客が離れないか心配である。(生活雑貨卸)

サービス業

● 当期(4月～6月)の景況

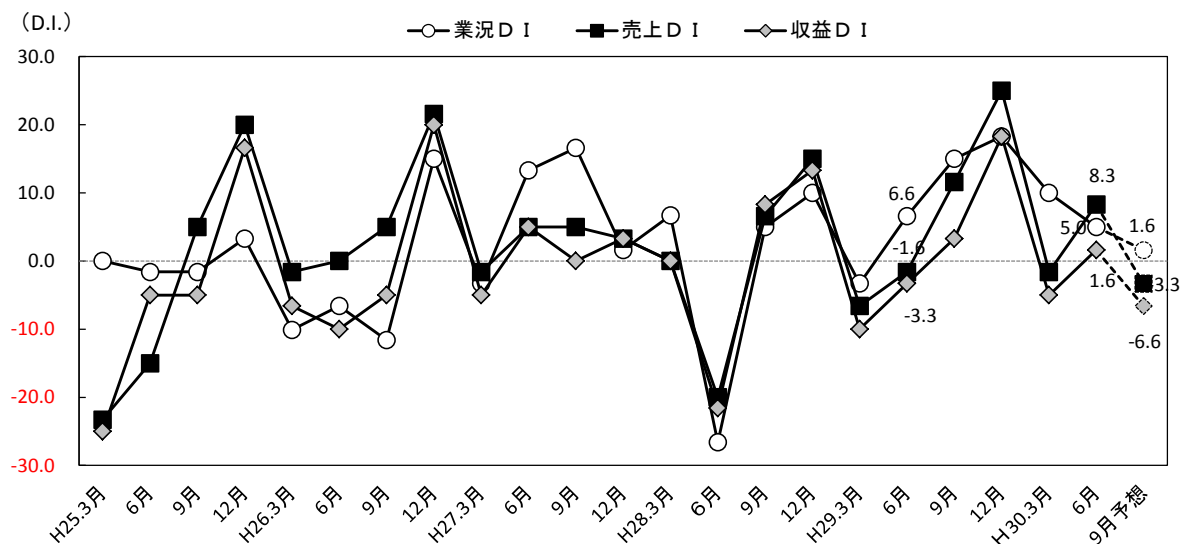
全域における業況DIは5.0となり、前期比5.0ポイント下降、前年同期比1.6ポイント下降となっています。売上DIは8.3となり、前期比9.9ポイント上昇、前年同期比9.9ポイント上昇となっています。収益DIは1.6となり、前期比6.6ポイント上昇、前年同期比4.9ポイント上昇となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が3.5となり、前期比0.0ポイントと同水準、前年同期比3.6ポイント下降、大分地区が10.7となり、前期比3.5ポイント下降、前年同期比3.6ポイント上昇、県北地区が▲25.0となり、前期比50.0ポイント下降、前年同期比25.0ポイント下降となっています。

● 来期(7月～9月)の見通し

全域における業況予想DIは1.6となり、今期比3.4ポイント下降となっています。売上予想DIは▲3.3となり、今期比11.6ポイント下降となっています。収益予想DIは▲6.6となり、今期比8.2ポイント下降となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲3.5、大分地区が10.7、県北地区が▲25.0となっています。



経営上の問題点

同業者間の競争激化	19.4%
人手不足	16.1%
売上停滞・減少	13.5%
商圏人口減少	10.1%
利幅縮小	6.7%

最重要経営施策

経費節減	22.6%
販路拡大	19.1%
宣伝・広告強化	13.0%
人材確保	12.1%
店舗・設備改装	7.8%

経営者のみなさまの主なコメント

- 積極的にインバウンド客の誘致は行っていないものの、近隣の大型ホテルとの住み分けが図られており、集客は安定している。ラクビーワールドカップ(大分開催)、2020東京オリンピックに向け好調を維持すると予想している。(ビジネスホテル)
- 別府市内のホテル、病院、大学等を対象に清掃やメンテナンスを手掛けており、堅実に営業している。(メンテナンス)
- 個人で営業しているが、高齢となり後継者もない状況である。(理容業)
- 人口減の影響を受け、売上はゆるやかに減少している。(美容業)
- ドライバーの高齢化および若い人材の確保が事業課題である。(運輸業)
- 補助金や商談会を利用して、新商品の開発および販売を行った。(飲食業)
- 補助金が採択されたので、今後も必要時に申請したい。また、社員の育成に今後も力を入れていきたい。(美容業)
- 補助金や助成金、専門家派遣については、今後意識的に取り組んでいきたい。(飲食業)
- 各種補助金や助成金を積極的に利用している。県内でのビジネスマッチングだけでなく、全国規模の場で自社や大分県をアピールしたい。(飲食業)
- 新規取引先を開拓しており、現状取引先が増加している。取引先の廃業もあるため今後も開拓活動を行ってきたい。(貸おしぼり)

建設業

● 当期(4月～6月)の景況

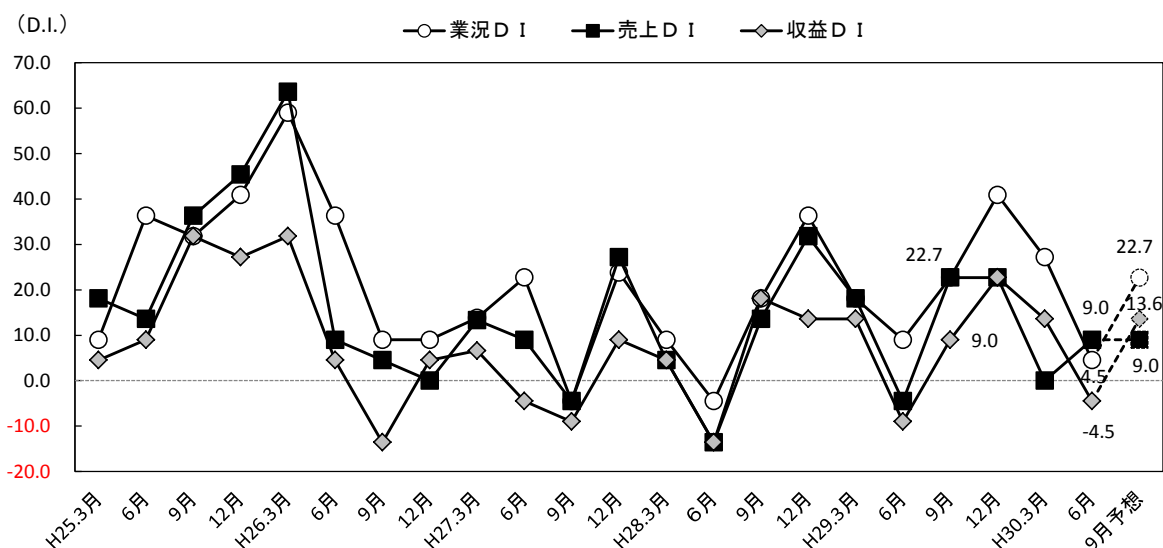
全域における業況DIは4.5となり、前期比22.7ポイント下降、前年同期比4.5ポイント下降となっています。売上DIは9.0となり、前期比9.0ポイント上昇、前年同期比13.5ポイント上昇となっています。収益DIは▲4.5となり、前期比9.1ポイント上昇、前年同期比4.5ポイント上昇となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が20.0となり、前期比40.0ポイント下降、前年同期比20.0ポイント下降、大分地区が0.0となり、前期比22.2ポイント下降、前年同期比11.1ポイント下降、県北地区が0.0となり、前期比12.5ポイント下降、前年同期比12.5ポイント上昇となっています。

● 来期(7月～9月)の見通し

全域における業況予想DIは22.7となり、今期比18.2ポイント上昇となっています。売上予想DIは9.0となり、今期比0.0ポイントと同水準となっています。収益予想DIは13.6ポイントとなり、今期比18.1ポイント上昇となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が40.0、大分地区が33.3、県北地区が0.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

人手不足	21.2%
同業者間の競争激化	17.0%
材料価格の上昇	17.0%
売上停滞・減少	14.8%
利幅縮小	8.5%

最重要経営施策

人材確保	18.1%
販路拡大	18.1%
技術力向上	15.9%
経費節減	13.6%
情報力強化	13.6%

経営者のみなさまの主なコメント

- 官公庁からの公共事業の割合が高いが、個人宅の建設・リフォームも手掛けている。業況は例年通りで、特に問題はない。(建設業)
- 後継者がいないため廃業を予定している。(建設業)
- 売上は横ばいで推移している。今後は経費削減、販路拡大、人材確保が事業課題である。(総合建設業)

不 動 産 業

● 当期(4月～6月)の景況

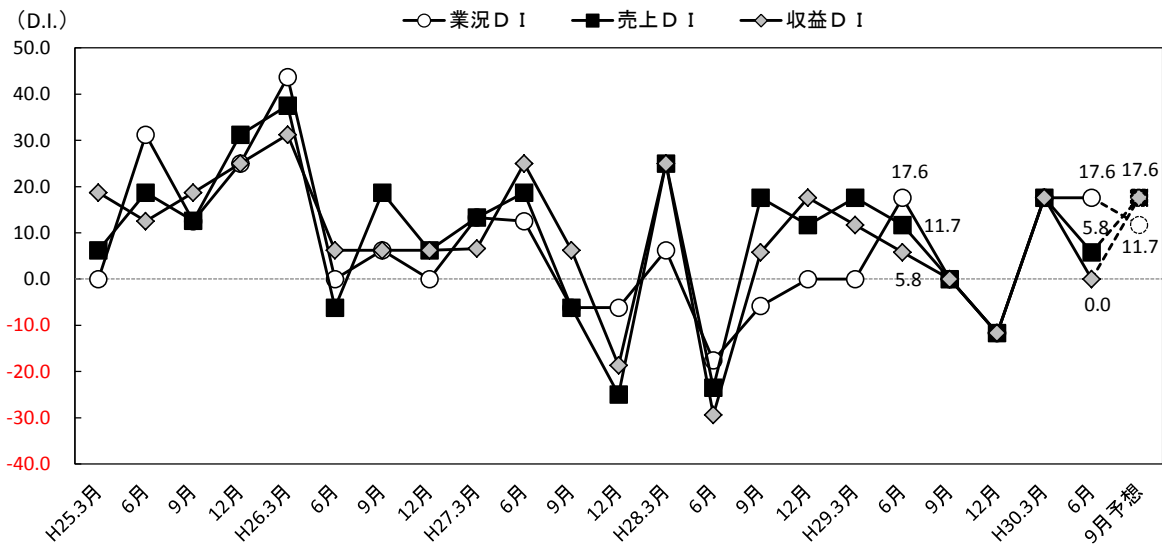
全域における業況DIは17.6となり、前期比0.0ポイントと同水準、前年同期比0.0ポイントと同水準となっています。売上DIは5.8となり、前期比11.8ポイント下降、前年同期比5.9ポイント下降となっています。収益DIは0.0となり、前期比17.6ポイント下降、前年同期比5.8ポイント下降となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が28.5となり、前期比0.0ポイントと同水準、前年同期比14.3ポイント下降、大分地区が0.0となり、前期比16.6ポイント上昇、前年同期比0.0ポイントと同水準、県北地区が25.0となり、前期比25.0ポイント下降、前年同期比25.0ポイント上昇となっています。

● 来期(7月～9月)の見通し

全域における業況予想DIは11.7となり、今期比5.9ポイント下降となっています。売上予想DIは17.6となり、今期比11.8ポイント上昇となっています。収益予想DIは17.6となり、今期比17.6ポイント上昇となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が28.5、大分地区が0.0、県北地区が0.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

同業者間の競争激化	31.0%
大手企業との競争激化	17.2%
問題なし	17.2%
商品物件不足	13.7%
利幅縮小	6.8%

最重要経営施策

情報力強化	32.3%
宣伝・広告強化	17.6%
販路拡大	11.7%
提携先探す	11.7%
経費節減	8.8%

経営者のみなさまの主なコメント

- 各種支援制度の利用を要望しているが、適切なものがない。(不動産業)
- 大分市において土地価格の上昇が続いているが、2020年のオリンピック特需によるものではないかと考えられている。また、その後の反動についても懸念している。(不動産売買、賃貸の仲介)

D I 数 値

全域合計

		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業 況	4月～6月実績	0.5	△ 6.4	△ 6.6	0.0	5.0	4.5	17.6
	7月～9月予想	1.9	3.2	△ 8.3	0.0	1.6	22.7	11.7
売 上	4月～6月実績	1.9	9.6	△ 8.3	△ 8.3	8.3	9.0	5.8
	7月～9月予想	4.2	12.9	1.6	4.0	△ 3.3	9.0	17.6
受 注 残	4月～6月実績	0.0	6.4	***	***	***	△ 9.0	***
	7月～9月予想	1.9	3.2	***	***	***	0.0	***
施工高	4月～6月実績	0.0	***	***	***	***	0.0	***
	7月～9月予想	4.5	***	***	***	***	4.5	***
収 益	4月～6月実績	△ 2.3	9.6	△ 10.0	△ 8.3	1.6	△ 4.5	0.0
	7月～9月予想	3.7	20.0	△ 1.6	4.0	△ 6.6	13.6	17.6
販売価格	4月～6月実績	9.6	6.4	11.6	3.5	15.0	9.0	0.0
	7月～9月予想	8.5	6.4	6.6	4.0	11.1	13.6	11.7
仕入価格	4月～6月実績	15.0	12.9	11.6	12.5	13.3	36.3	11.7
	7月～9月予想	14.0	19.3	6.6	20.0	13.3	22.7	11.7
在庫	4月～6月実績	1.3	6.4	3.3	△ 4.1	***	0.0	△ 5.8
	7月～9月予想	0.6	6.4	1.6	△ 4.0	***	0.0	△ 5.8
資金繰り	4月～6月実績	△ 3.8	△ 16.1	△ 8.4	8.3	1.6	0.0	△ 5.8
	7月～9月予想	△ 3.3	△ 6.4	△ 8.3	8.0	△ 6.6	9.0	0.0
残業時間	4月～6月実績	△ 0.5	3.2	△ 1.6	0.0	△ 3.3	0.0	5.8
	7月～9月予想	△ 3.3	9.6	△ 1.6	△ 4.0	△ 8.3	△ 13.6	0.0
人手状況	4月～6月実績	△ 21.2	△ 25.8	△ 12.0	△ 25.0	△ 23.3	△ 27.2	△ 23.5
	7月～9月予想	△ 22.1	△ 22.5	△ 15.5	△ 28.0	△ 23.3	△ 27.2	△ 23.5

別府地区

		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業 況	4月～6月実績	4.4	0.0	0.0	0.0	3.5	20.0	28.5
	7月～9月予想	3.3	6.2	△ 3.8	0.0	△ 3.5	40.0	28.5
売 上	4月～6月実績	6.7	12.5	3.8	0.0	7.1	20.0	0.0
	7月～9月予想	6.6	12.5	11.5	0.0	△ 7.1	20.0	28.5
受 注 残	4月～6月実績	9.5	6.2	***	***	***	20.0	***
	7月～9月予想	4.8	0.0	***	***	***	20.0	***
施工高	4月～6月実績	40.0	***	***	***	***	40.0	***
	7月～9月予想	20.0	***	***	***	***	20.0	***
収 益	4月～6月実績	5.6	12.5	0.0	△ 12.5	10.7	40.0	△ 14.2
	7月～9月予想	6.6	18.7	3.8	11.1	△ 10.7	40.0	28.5
販売価格	4月～6月実績	15.6	6.2	23.0	12.5	25.0	0.0	△ 14.2
	7月～9月予想	9.9	6.2	11.5	22.2	7.1	0.0	14.2
仕入価格	4月～6月実績	17.8	12.5	26.9	△ 12.5	25.0	20.0	0.0
	7月～9月予想	17.6	25.0	7.6	11.1	25.0	20.0	14.2
在庫	4月～6月実績	△ 3.2	6.2	3.8	△ 12.5	***	0.0	△ 42.8
	7月～9月予想	△ 1.6	6.2	3.8	△ 11.1	***	0.0	△ 28.5
資金繰り	4月～6月実績	△ 3.4	△ 18.7	△ 16.0	37.5	7.1	△ 20.0	0.0
	7月～9月予想	△ 5.5	△ 6.2	△ 15.3	22.2	△ 7.1	0.0	0.0
残業時間	4月～6月実績	0.0	0.0	3.8	0.0	△ 3.5	0.0	0.0
	7月～9月予想	1.1	6.2	11.5	0.0	△ 10.7	0.0	0.0
人手状況	4月～6月実績	△ 23.6	△ 31.2	△ 4.0	△ 12.5	△ 35.7	△ 40.0	△ 28.5
	7月～9月予想	△ 23.3	△ 25.0	△ 12.0	△ 11.1	△ 32.1	△ 40.0	△ 28.5

大分地区

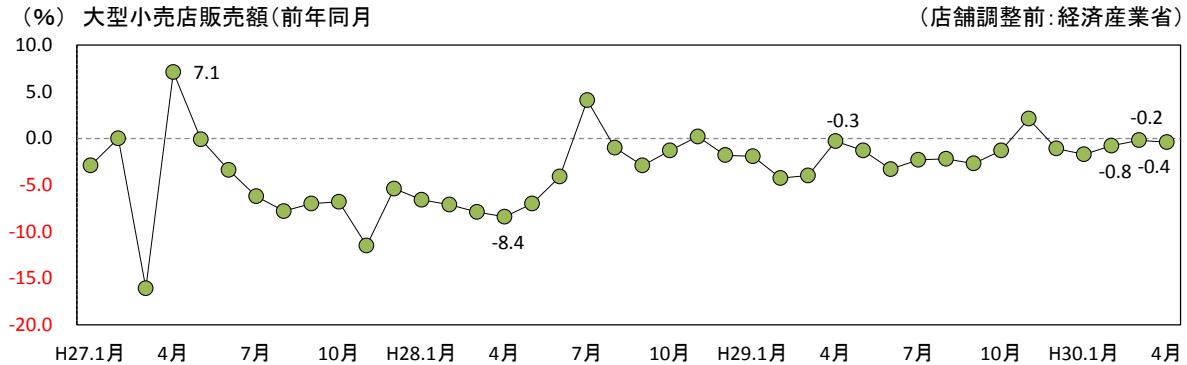
		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業 況	4月～6月実績	△ 3.6	△ 40.0	△ 11.5	△ 10.0	10.7	0.0	0.0
	7月～9月予想	0.0	△ 20.0	△ 15.3	△ 10.0	10.7	33.3	0.0
売 上	4月～6月実績	△ 1.2	20.0	△ 26.9	0.0	17.8	0.0	0.0
	7月～9月予想	△ 1.2	△ 20.0	△ 15.3	0.0	3.5	22.2	16.6
受 注 残	4月～6月実績	△ 14.3	20.0	***	***	***	△ 33.3	***
	7月～9月予想	△ 14.3	△ 20.0	***	***	***	△ 11.1	***
施工高	4月～6月実績	△ 33.3	***	***	***	***	△ 33.3	***
	7月～9月予想	0.0	***	***	***	***	0.0	***
収 益	4月～6月実績	△ 10.7	0.0	△ 23.0	0.0	0.0	△ 33.3	0.0
	7月～9月予想	△ 1.2	0.0	△ 7.6	△ 10.0	0.0	11.1	16.6
販売価格	4月～6月実績	1.2	0.0	△ 3.8	△ 10.0	3.5	11.1	16.6
	7月～9月予想	0.0	0.0	△ 3.8	△ 10.0	△ 3.5	22.2	16.6
仕入価格	4月～6月実績	7.1	20.0	△ 7.6	20.0	△ 3.5	55.5	16.6
	7月～9月予想	7.1	20.0	0.0	20.0	△ 3.5	33.3	16.6
在庫	4月～6月実績	3.5	20.0	3.8	△ 10.0	***	0.0	16.6
	7月～9月予想	0.0	20.0	0.0	△ 10.0	***	0.0	0.0
資金繰り	4月～6月実績	△ 7.1	△ 80.0	△ 3.8	0.0	△ 3.5	0.0	0.0
	7月～9月予想	△ 4.8	△ 60.0	△ 3.8	0.0	△ 7.1	22.2	0.0
残業時間	4月～6月実績	△ 1.2	20.0	△ 7.6	0.0	△ 3.5	0.0	16.6
	7月～9月予想	△ 7.7	20.0	△ 15.3	△ 10.0	△ 7.1	0.0	0.0
人手状況	4月～6月実績	△ 18.1	△ 20.0	△ 20.0	△ 30.0	△ 14.2	0.0	△ 33.3
	7月～9月予想	△ 20.5	△ 20.0	△ 20.0	△ 40.0	△ 17.8	0.0	△ 33.3

県北地区

		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業 況	4月～6月実績	0.0	0.0	△ 12.5	16.6	△ 25.0	0.0	25.0
	7月～9月予想	2.5	10.0	0.0	16.6	△ 25.0	0.0	0.0
売 上	4月～6月実績	△ 2.5	0.0	12.5	△ 33.3	△ 50.0	12.5	25.0
	7月～9月予想	10.0	30.0	25.0	16.6	△ 25.0	△ 12.5	0.0
受 注 残	4月～6月実績	0.0	0.0	***	***	***	0.0	***
	7月～9月予想	11.1	20.0	***	***	***	0.0	***
施工高	4月～6月実績	12.5	***	***	***	***	12.5	***
	7月～9月予想	0.0	***	***	***	***	0.0	***
収 益	4月～6月実績	△ 2.5	10.0	0.0	△ 16.6	△ 50.0	0.0	25.0
	7月～9月予想	7.7	33.3	0.0	16.6	△ 25.0	0.0	0.0
販売価格	4月～6月実績	12.5	10.0	25.0	0.0	25.0	12.5	0.0
	7月～9月予想	10.0	10.0	25.0	0.0	0.0	12.5	0.0
仕入価格	4月～6月実績	25.0	10.0	25.0	33.3	50.0	25.0	25.0
	7月～9月予想	20.0	10.0	25.0	33.3	50.0	12.5	0.0
在庫	4月～6月実績	5.7	0.0	0.0	16.6	***	0.0	25.0
	7月～9月予想	5.7	0.0	0.0	16.6	***	0.0	25.0
資金繰り	4月～6月実績	2.5	20.0	0.0	△ 16.6	0.0	12.5	△ 25.0
	7月～9月予想	5.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
残業時間	4月～6月実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	7月～9月予想	△ 5.0	10.0	0.0	0.0	0.0	△ 37.5	0.0
人手状況	4月～6月実績	△ 22.5	△ 20.0	△ 12.5	△ 33.3	0.0	△ 50.0	0.0
	7月～9月予想	△ 22.5	△ 20.0	△ 12.5	△ 33.3	0.0	△ 50.0	0.0

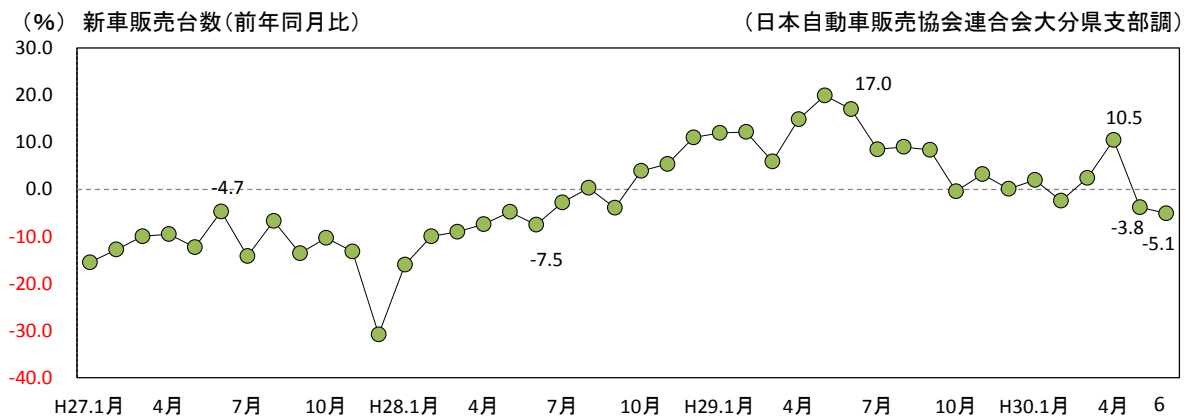
県内大型小売店販売額

平成30年4月の大型小売店販売額は81億円で、前年同月比0.4ポイント下降となっています。品目別では、衣料品が前年同月比2.4ポイント下降、飲食料品が1.8ポイント上昇、その他の商品が0.8ポイント下降となっています。



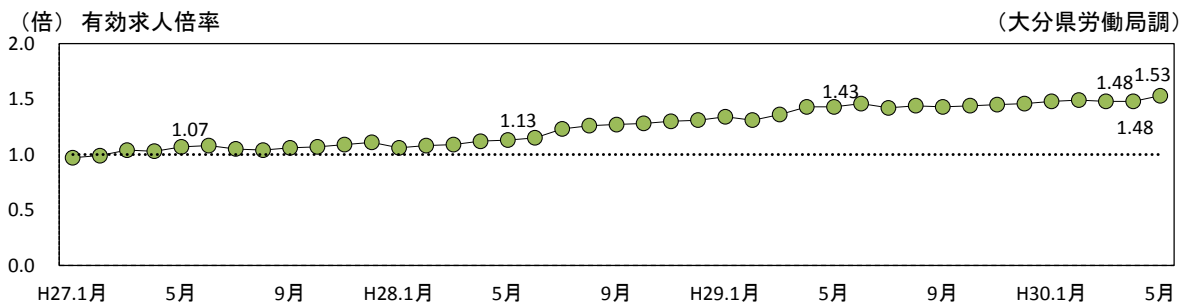
県内新車販売台数

平成30年6月の登録車と軽四輪車合計の新車販売台数(総合計)は4,603台で前年同月を5.1%下回りました。車種別では、普通乗用車が1,146台で前年同月比2.9%減、小型乗用車が1,056台で前年同月比12.0%減となりました。また、軽四輪車の合計は2,035台で前年同月比4.8%減となりました。



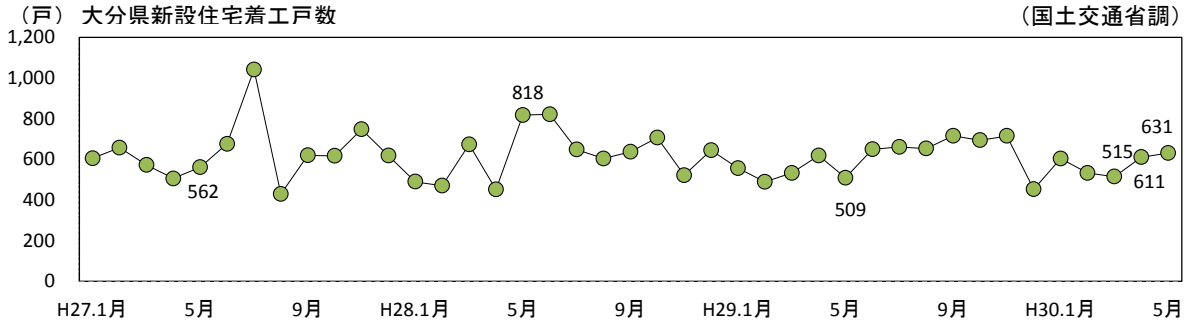
県内有効求人倍率

平成30年5月の有効求人倍率は、前月を0.05ポイント上回る1.53倍となりました。地域別でみると、大分管内1.62倍(前月比▲0.02ポイント)、別府管内1.07倍(前月比▲0.06ポイント)、中津管内1.46倍(前月比+0.10ポイント)と高水準を維持しております。



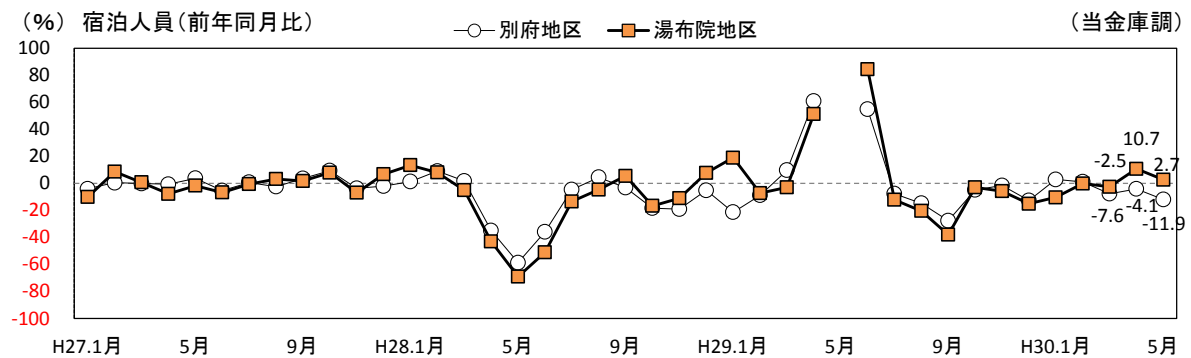
県内新設住宅着工戸数

平成30年5月の住宅着工戸数は631戸でした。そのうち、持家は275戸、貸家は236戸、分譲住宅は95戸となっています。



観光動向

平成30年5月の前年同月比宿泊人数は、別府地区で11.9ポイントの下降、湯布院地区で2.7ポイントの上昇となりました。
 ※宿泊人員(前年同月比)の折れ線グラフでは、29年5月のデータを省略しております(28年5月は震災の影響により宿泊人員が大幅に落ち込んだため)。29年5月の前年同月比宿泊人員データは、別府地区+143.7%、湯布院地区+170.4%となっております。



企業倒産状況

東京商工リサーチ大分支店の調査によると、平成30年4月の県内の企業倒産件数は4件で9億6百万円、5月は4件で5億7千2百万円、6月は2件で10億1千万円となっています。

